

Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 健康心理学コラム vol. 55 田中 芳幸 (京都橘大学 健康科学部心理学科)

1) 学会からのお知らせ (<http://jahp.wdc-jp.com/>)

■第107回、108回健康心理学研修会のご案内

第30回大会(9月3日)にて開催されます。場所は、明治大学駿河台キャンパス・アカデミーコモン 9F-309F になります。公認心理師制度発足に合わせたタイムリーな研修となっています。内容の詳細は、下記 URL をご覧の上、事前申込をお願いします。

<http://jahp.wdc-jp.com/kensyu/kensyu2.html>

・107回 9月3日(日) 9:00~10:30 健康心理学研究における研究倫理：研究倫理に関する倫理指針・法律の最近の動向から 講師：飯島 祥彦 (名古屋大学大学院医学系研究科 生命倫理統括支援室)

健康心理学の研究は、ヒトを対象とし心身の情報を何らかの方法で取得する手法を使うものが多いことから、医学研究と同様の研究上の倫理が求められるので、この種の研修受講は必須となります。受講者には、受講証が発行されますが、これは医学系研究における倫理に関する研修受講証明書として利用いただけます。

・108回 9月3日(日) 14:00~15:30 公認心理師の初年次教育：学部必修科目「公認心理師の職責」の講義内容を考える 講師：子安 増生 (甲南大学文学部)

公認心理師の学部養成カリキュラム中でこれまで馴染みのない「公認心理師の職責」とはどのようなことを教える科目なのか、公認心理師の職責とは何かなどを、公認心理師カリキュラム等検討会議メンバーで日心連理事長の子安先生から伺います。

■2017年度健康心理士会総会のご案内

健康心理士会会員のみなさま、本年度総会は、30回大会が開催される9月3日午後15時40分より、健康心理士会共催の第108回健康心理学研修会終了後に明治大学駿河台キャンパス・アカデミーコモン 9F-309F にて開催いたします。今年度より健康心理士の資格を取得されたかたは全員、健康心理士会会員となりますので、大勢のご参加をおまちしております。なお役員会は前日9月2日に開催する予定です。

2) 健康心理学コラム Vol. 55

「日本人は不幸なのか？」

田中 芳幸 (京都橘大学 健康科学部心理学科)

「あなたは今、幸せですか?」。「まあ、そこそこに」「いや、それほど」と応じてしまいそうな質問ではないでしょうか。

幸福の概念は様々ですが、主観的ウェルビーイングや心理的ウェ

ルビーイングに注目して、ストレス軽減や緩衝の役割について考えるというのが、私の研究テーマです (Tanaka & Tsuda, 2016 など)。これまで日本人限定で検討してきましたが、世界の幸福度比較研究に目を向けると、一日本人として何かモヤモヤした気持ちが浮かびます。

一例として最新の世界幸福度報告書によると、日本人の幸福度は155か国中51位という結果です。これは上位3分の1に入る順位ですが、先進国の中ではかなり下位です (Helliwell, Layard & Sachs, 2017)。国内総生産が高いにもかかわらず生活満足度の高い日本人は少ないという報告もあります。まるでお金持ちだが満足できず、不幸な国民ということになりそうなの…。

何か釈然としませんが、その根拠を示せるだけのデータすらない今の私では何の説得力もありません。1つ思うのは、冒頭に記した質問に対する“まあ”や“それほど”という中庸で回答しがちな特徴を反映しているということです。その点で、理想と実際の幸福度を尋ねて調整する方法 (高橋, 2015) を目にした際に妙案だと感じたことは記憶に新しいです。

これからもウェルビーイングの役割という視点での研究を継続しつつ、幸福度を何らかの別の方法で表しての国際比較ができると良いなと考えたりするこの頃です。私自身の勝手なモヤモヤを解消できるか、やはり日本人は不幸なんだという結論になるかは不明ですが…。

文献

Helliwell, J., Layard, R., & Sachs, J. (2017). World Happiness Report 2017, New York: Sustainable Development Solutions Network. Retrieved from <http://worldhappiness.report/ed/2017/>
Tanaka, Y., & Tsuda, A. (2016). The role of “ikiiki (psychological liveliness)” in the relationship between stressors and stress responses among Japanese university students. *Japanese Psychological Research*, 58, 71-84. doi: 10.1111/jpr.12102

高橋 義明 (2015). 幸福度は比較可能か? よりよい政策活用のために (特集「幸せ」を考える). 三田評論, 1189, 26-31. Retrieved from <http://ci.nii.ac.jp/naid/40020472686>

日本健康心理学会広報委員会

<http://jahp-public.blogspot.jp/>

メールマガジンの配信停止、アドレス変更は下記アドレスまで

日本健康心理学会事務局 < jahp-post@bunken.co.jp >

メールマガジンへのご意見・ご感想は下記アドレスまで

広報委員会 < jahp-ML@bunken.co.jp >

過去のメールマガジンは、こちらからご覧いただけます

<http://jahp.wdc-jp.com/health/health1.html>